



名古屋 名大ロータリークラブ Weekly Report

2012～2013年度 No. 18

例会日：毎週水曜日 12:30～13:30 創立：昭和56年3月4日
 例会場：P HOTEL 名古屋錦 中区錦三丁目 15-30 (052) 953-5111
 事務局：名古屋市中区錦三丁目 15-30 P HOTEL 名古屋錦 560 号室
 (052) 961-2399 (直通) (052) 953-5111 FAX (052) 961-2391
 E-mail : meihokrc@beach.ocn.ne.jp

会長：小関 敏光 幹事：古川 康司 会報委員長：近藤 朗 題字：遠藤 友彦

クラブテーマ ここに平和を

本日の例会(第1520回) 11/7(水)

地区委員報告を行います。

次回の例会(第1521回) 11/14(水)

《ロータリー財団月間卓話》

卓話紹介会員 ロータリー財団委員会 委員長 横井 尚啓君

スピーカー 国際ロータリー第2760地区

ロータリー財団委員会 委員長 深谷 友尋様

題名 ロータリー財団未来の夢計画について

第1519回例会記録 10/31(水)晴

司会 道家 泰之君

斉唱 RS・手に手つないで/唱歌・もみじ

出席報告

会員数	39名	前々回訂正	1517回例会
欠席会員数	5名	欠席会員	7名中
出席会員数	34名	MAKE UP	7名
出席率	87.18%	出席率訂正	100%

会長挨拶

会長 小関 敏光

みなさん今日は。先週の土・日曜日に、地区大会に参加された方には、ご苦労様でした。

さて、だいぶ秋らしくなって、ぶどう狩りのシーズンは過ぎましたが、今日は「怒りの葡萄」のお話をします。

「怒りの葡萄」は、1939年(昭和14年)にアメリカの作家「スタインベック」が発表した小説で、翌1940年(昭和15年)には、「ジョンフォード」監督が名優「ヘンリーフォード」を主人公トムジョード役に配して映画化しています。

ストーリーは、1930年代中頃、米国はオクラホマ州の小作

農ジョード一家が、砂嵐に見舞われて凶作が続いたうえ、農業の機械化が進んで地主が小作人の追い出しにかかったことから、ジョード一家も「カルフォルニア州では、ブドウ園の季節労働者を求めており、給料が高い上、ブドウも食べ放題」との噂を信じて、小作地を捨てて、オクラホマからテキサス、ニューメキシコ、アリゾナを縦断してカルフォルニアまでの約3000kmに及ぶ旅物語です。オンボロトラックに家財道具を積んで、一家と同伴者併せて12人が、当時まだ舗装されていない道を西へ西へと向かい、途中で病人が出て死亡したり、トラックが故障したり、アリゾナ砂漠を越えたり、お金も食料もつきて、ようやくカルフォルニア州に辿り着きます。しかし、ブドウ園には季節労働者が長蛇の列をなしているような状況で、安い賃金で長時間労働を強いられるという正に「怒りの葡萄」状態だったという話です。スタインベックは、この作品でピューリッター賞を受賞し、世界的に有名な作家となりました。

因みに、日本の山田洋次監督が、昭和45年(1970年)に作った「家族」という映画がありますが、これも、長崎県は伊王島で炭鉱夫をしていた風見一家が、炭鉱閉山に伴って、家族5人で北海道は中標津まで、約2000kmを旅する話です。旅をするなかで、いろいろな出来事が起き、家族について考えさせられる名作です。

尚、「ジョン アーネスト スタインベック」は、1902年(明治35年)2月27日に米国カルフォルニア州で生まれ、大学を中退後職を転々とした後1930年(昭和5年)頃から小説を発表しますがあまりヒットせず、1937年(昭和12年)に発表した「二十鼠と人間」でようやく作家として認められるようになり、1939年(昭和14年)に「怒りの葡萄」、1952年(昭和27年)には「エデンの東」を発表するなどし、1962年(昭和37年)にノーベル文学賞を受賞、1968年(昭和43年)に66歳で死亡。アメリカを代表する作家の1人といえます。ありがとうございました。



幹事報告

1. 今月は米山月間です。後程月間に因みまして、横田米山記念奨学委員長より卓話をして頂きます。
2. 去る 10 月 27 日(土)・28 日(日)の地区大会ご参加の皆様、大変お疲れ様でした。
3. ローターリー財団への寄付申込書(年間 100 ドル)を同封致しましたので、11 月 7 日(水)までにご提出下さい。
4. 来る 11 月 21 日(水)、アパホテル名古屋錦にて行われます名古屋名城 RAC との合同夜間例会の出欠票を同封致しましたので、11 月 7 日(水)までにご提出下さい。

委員会報告

- ・セントラル愛知交響楽団コンサートのご案内
(親睦活動委員 近藤 朗)

卓話

米山月間にちなんで



米山記念奨学委員会 委員長 横田 徳久

米山記念奨学会は在日外国人留学生を支援する民間の最大の奨学団体です。

事業内容として、財源は全国ロータリアンの寄付で、理事会は全地区 34 からの理事で構成され運営されています。年間の奨学生採用数は 700~800 人、事業費は 14 億円(2011 年現在)です。今まで支援した奨学生は 1 万 7000 人以上で、世界 121 の国と地域に及びます。特長として、世話クラブカウンセラー制度をとり、奨学生には月 1 回の例会出席で、ロータリアンとの交流を通じ、真の日本を知り、平和な心を学びます。ロータリアンには奨学事業の意義を実感していただきます。寄付金の種類は普通寄付と特別寄付の 2 種類があります。それには表彰制度並びに税の優遇制度があります。このところ寄付金の減少で、奨学生の採用人数が減ってきています。2005 年に 1000 人採用だったのが、8 年ぶりに 800 人に採用人数が減少しています。1952 年に東京 RC が米山基金創設以来、今日までロータリアンの熱意で支えられてきました。その灯を消してはなりません。奨学生や奨学期間を終了した学友達も日本や外国でいろいろな面で頑張っています。

どうかロータリアンの皆様、米山月間に際して、米山記念奨学事業をより深く理解していただき、これまで以上にご協力・ご支援の程よろしくお願い致します。

ニコボックス

柴山 利彌君

育爺で腰が痛いです。

梅村美知容さん

四国お遍路 88 力所満願させていただきました。

【地区大会出席ご苦労様でした。】

小關 敏光君 古川 康司君 山田 浩二君 横井 尚啓君
木村 雅一君 伊藤 晋一君 遠藤 友彦君 石黒 勉君
横井 登君 梶川 久雄君 近藤 朗君 星川 直志君
柘植 勝介君 宇都木 寧君 藤原 研一君 道家 泰之君
杉浦 正文君 尾関 正一君 梅田 渉君 阿部 美男君
西脇 多吉君 横田 徳久君 加藤 昌之君 加藤あつこさん
半泊 與則君 赤崎 守弘君 足立陽一郎君 入江由希子さん

2012~2013 年度 国際ロータリー第 2760 地区

地区大会 ホスト:安城 RC

2012 年 10 月 27 日(土)・28 日(日)

ウェスティンナゴヤキャッスル

